



第349号
8・9月
 〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報委員会
 「教区ニュース」編集部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

8月6日~15日
日本カトリック
平和旬間
 「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うこと」
 ヨハネ・パウロ2世

9月27日
世界難民移住
移動者の日
 祈り、協力、献金
 「すべての人の母である、国境のない教会」
 教皇フランシスコ

教区ホームページ
福音の
ひびき
 8月の説教者

- 2日 年間第18主日
チャン・ヴァン・ビン (瀬戸教会)
- 9日 年間第19主日
暮林 響 (神言修道会)
- 16日 年間第20主日
アーノルド・ブルム (安城教会)
- 23日 年間第21主日
島袋 幹男 (岡崎教会)
- 30日 年間第22主日
平澤 忠雄 (守山教会)

- 9月の説教者
- 6日 年間第23主日
岩崎 一二三 (聖心教会)
 - 13日 年間第24主日
サントス・エドワルド (豊橋教会)
 - 20日 年間第25主日
片岡 義博 (一宮教会)
 - 27日 年間第26主日
三上 和久 (三馬教会)

ミカエル松浦悟郎司教、 アウグスチノ野村純一司教叙階記念 司祭叙階、奉献生活誓願の 金銀祝の祝い



司教叙階を記念し、あ
 わせて司祭、修道者、奉
 集いが7月5日、布池教
 会で行わ
 れ、400人
 を超える
 人々が
 参列し
 た。着任
 したばか
 りの松浦
 悟郎司教
 が16年前
 大阪で司
 教叙階を
 受けたの
 は7月17
 日で、奇
 しくも野
 村純一名
 誉司教と
 同じ7月
 だったの

で、お二人を合わせて祝
 うことになった。
 14人の侍者と終身助祭
 二人、18人の司祭団に続
 いて松浦司教、野村司教
 が人堂してミサが始まっ
 た。
 松浦司教は「お互いに
 あいさつをしましょう」
 と呼びかけ、「今日は金
 銀祝のお祝いで集ってい
 ます。お祝いのみならず、
 神様から呼ばれて集って
 います。そして私たちの
 福音宣教の使命を全うす
 るよう神からの呼びかけ
 に応えていきましょう」
 とあいさつした。
 説教は金祝を迎えた七
 種照夫神父(神言修道会)
 が担当した。
 「今日、金銀祝に招か

れた私たち一人一人、自
 分の人生にはドラマがあ
 り、召命の自分史があり
 ます」と叙階から50年に
 わたるエピソードをさま
 ざまに語った。
 そして、「長い道のり
 があり、振り返ってみま
 すと長くて短いように思
 えます。これからは、夕
 日をこの身に受けながら
 ゆっくりとこの道をた
 どっていききたい」と締め
 くくった。
 ミサ後、祭壇の中央で
 松浦司教と野村司教に花
 束が、金銀祝の司祭、修
 道者、在俗奉献生活者の
 皆さんには松浦司教から
 記念のカードと一輪の花
 が手渡された。最後に金
 祝を迎えたドミニコ会の

能登原典子シスターが感
 謝の言葉を述べて、祝賀
 ミサは終わった。
 続いて地下ホールで
 は、信徒使徒職協議会・
 城南ブロックの準備によ
 る祝賀会が催された。
 松浦司教、野村司教の
 あいさつに続き、滑川信
 徒協会会長が、「松浦司教
 様の下、名古屋教区民が
 一つになれますように」
 という力強い乾杯の音頭
 で始まった。
 オペラ「二十六人の殉
 教」上演の際に結成され
 たコラール・コンボレ
 合唱団が「カンターテ・
 ドミノ」などを歌い会場
 を盛り上げた。
 今年、金銀祝を迎えた

司祭・奉献生活者は次の
 皆さんです。
 司祭・金祝
 大橋嘉男神父(神言修道
 会) 七種照夫神父(神
 言修道会)
 司祭・銀祝
 椎尾匡文神父(名古屋教
 区) 三上和久神父(カ
 ルメル会)
 奉献生活者・金祝
 Sr.齊藤千鶴子(ドミニコ
 会) Sr.能登原典子(ド
 ミニコ会)
 岡田喜美江(聖マリア在
 俗会) 清水溪子(聖マ
 リア在俗会) 庄子多賀
 子(聖マリア在俗会)
 竹村静(聖マリア在俗
 会) 前田調子(聖マリ
 ア在俗会)

にもリバウンドしない
 様に。
 (聖マリア在俗会)
 1年前、出会いまし
 た小文、どなたのものか
 存じませんが心に深く忘
 れがたいので記させて頂
 きます。途方に暮れても
 失望せず、才能も勇気も
 なくとも、その現場を直
 接見て、そこに触れれば
 愛が溢れ、聖霊が溢れ、
 あとはもう神様が働いて
 くださる。身近に病んで
 いる人がいるなら、私た
 ちはそこにつかわされま
 した。ひたすら人々の救霊
 のために祈るのだと思っ
 て観想修道会に参りまし
 た。何も分らない私を
 主は先に招き支え、導い
 て下さったと思います。
 いつくしみ深い神様のお
 はからいに感謝します。
 Sr.能登原典子

私は学生時代、カト
 リック信者だった後輩を
 通して教会の存在を知
 り、クリスマスに初めて
 教会へ行きました。教会
 と言っても普通の小さな
 民衆だったのでガッカリ
 しました。それにもう、
 典礼は始まっているので、
 戻るに戻れません。仕方
 なく場外れな姿で入った
 場に留まり続けました。
 初めてのクリスマスは
 とても楽しかったです。
 あの珍事以降からも教会
 は楽しく、登校の行き帰
 りも教会を訪れ、祈りや
 ダベリング等で時間をつ
 ぶしていた習慣から抜け
 出せず、遂に自分をイエ
 ス様へ押し付けてしま
 いました。

金銀祝を迎えた司祭・奉献生活者 からのメッセージ(抜粋)

金祝
 (神言修道会)
 大橋嘉男神父

叙階のお恵みを頂いた
 時は33歳だった私は、ま
 さか自分が叙階50周年ま
 で生きられるとは、夢に
 も思っていないかもしれ
 ない。しかし、その「まさ
 か」が現実となり、皆様
 から祝って頂けることを
 感謝しております。叙階
 金祝を記念して作りまし
 たカードに、私はミサ典
 礼文の中の「キリストに
 よって、キリストと共に、



キリストのうちに」とい
 うキリスト賛歌を印刷し
 ました。この賛歌の中
 には私の過去、現在、未
 来の総てが含まれていま
 す。いまの自分が司祭で
 と願っています。
 七種照夫神父

歩いてきた！戦後2年
 目、長崎教区西木場教会
 の老司祭が昼食に僕を呼
 び、差し向かいで、おど
 おどしたが銀シャリ2杯
 もお替りした。それが僕



振り返れば70年安保と
 学生紛争、教区レベルで
 は人権と福祉、正義と平
 和等で働かされた。紆余
 曲折はあったが、今日ま
 で神の指を感じ生きてき
 た。
 (名古屋教区)
 椎尾匡文神父

25年前、叙階記念カ
 ードに記した聖書の言葉で
 す。
 25年の間にお腹周りに
 随分と要らない遺産(脂
 肪)が付きました。精神
 的にも肥え太ってしまっ
 たのか、遺産を持たずに
 貧しくいられたのか自省
 することが多くなりました
 た。歳のせいでしょうか
 か？最近、何故か自分が
 実年齢以上にすっかり人

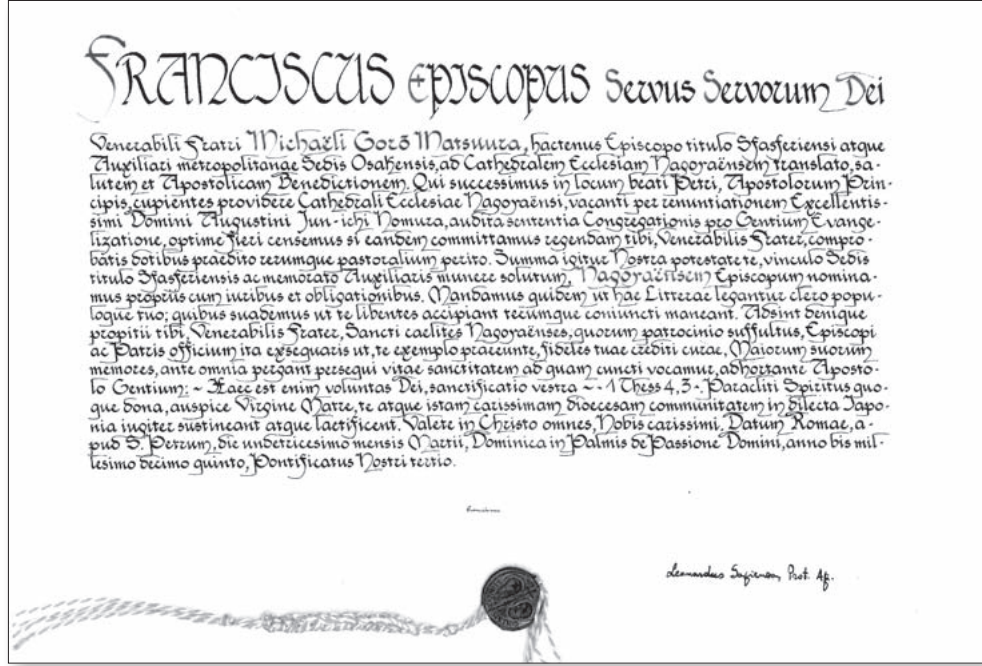
生の晩年です。(死期が
 近い?)
 アウイラの聖テレジア
 の「神を有すれば足りな
 いものは、何もなく、神
 だけで足りる」、十字架
 の聖ヨハネの「神の恵み
 ですらこの世において
 は、神ご自身ではないの
 でいらぬ」、リジュー
 の聖テレジアの「小さ
 い子供は何も持たない」
 などなど、それがたとえ
 霊的な宝であったとして
 も、蓄財を拒否する徹底
 した心の貧しさに心打た
 れます。というわけで、
 明日からまたダイエット
 を始めましょう。精神的
 霊的に、ついでに肉体的

誓願50年記念に当たっ
 て、ただただ感謝に尽き
 ます。主は生きていて、
 共にいてくださいます
 た。私は、良いも悪いも
 すべて主にお委ねして、
 その時々、自分の前に差
 し出されることに精一杯
 応えたいと思つて過ごし
 ました。過ちや失敗は沢
 山ありましたが、許して
 頂きました。特別なこと
 は何もなく、新しくやっ
 てくる一日一日を、姉妹
 たち、家族や友人たちに
 助けられて歩むことが出
 来て幸いました。どのよ
 うにお礼申し上げます。
 いか分かりませんが、

松浦司教に名古屋教区司教就任を告げる 教皇フランシスコからの任命書

松浦司教の着座式で朗読されたフランシスコ教皇からの任命書を紹介します。教皇大使ジョセフ・チェノット大司教がまずラテン語で読み、その訳文を名古屋教区事務局長平田政信神父が読み上げたものです。

任命書



(和訳文)

神のしもべのしもべである司教フランシスコは、スファスフェリの名義司教、かつ大阪大司教区の補佐司教をこれまで務め、名古屋司教区に転任される、尊敬する兄弟ミカエル松浦悟郎司教様に、挨拶と使徒的祝福を送ります。

さて、使徒たちの頭、聖ペトロの後継者である私は、かねてより尊敬するアウグスチノ野村純一司教のご退任で空位となっていた名古屋司教区の座をふさわしい方に継いでいただきたいと思っておりましたが、福音宣教省の助言を受け、見識豊かで司教に精通しているあなたに、司教区を治める務めをお委ねすることが最善であると判断しました。

私は、教皇としての権限により、スファスフェリの名義司教と補佐司教としての義務と任務を免じ、名古屋教区司教に任命し、それに伴うすべての権利と義務を付与します。

私は、この任命書があなたの司教団と教区民に読み上げられるよう望みます。彼らが、喜びのうちにあなたを受け入れ、あなたとともに歩みますように。

最後に、尊敬する兄弟である司教様、名古屋教区の天の聖人たちの助けに支えられ、あなたが司教と父親としての務めをあなたに委ねられた信者の方々に、果たしますように。

異邦人の使徒である聖パウロが「実に、神の御心は、あなたがたが聖なる者となることです」(1テサロニケ4:3)と励ますように、あなたがまず模範を示すことにより、名古屋教区における福音宣教の先駆者の方々の思い出を持つ教区民たちが、より多くの感謝をこめて、なによりも、わたしたちすべてが召されているいのちの聖化を求めますように。

助け主である聖霊の賜物が、聖母マリアの取り次ぎによって、あなたと、日本における愛すべき名古屋教区の共同体を支え、喜びで満たしてくださいますように。

キリストにおいて私の愛するすべての皆様にご挨拶をおくります。

教皇在位第3年 2015年3月29日、枝の主日 ローマ、聖ペトロの傍らにおいて

フランシスコ

「ひとつになろうキリストのうちに」。キリスト・イエスのうちに心ひとつになつていられる私たちに、今日は恵みの日、祝福の日、喜びの日であります。その喜びを分かち合うために私たちがここに集まっています。そしてこの喜びを共にするために全国各地からお集まりくださった信徒、修道者、司祭の皆様、そしてまた駐日ローマ教皇庁大使ジョセフ・チェノット大司教様をはじめ、各教区の司教様方に、名古屋教区を代表して心からお礼を申し上げます。

野村司教様から退任のごあいさつがありました。司教様には名古屋教区の最高責任者として、22年の長い間、私たちを教え導き「よき牧者」としての務めを果たしていただき、心から感謝いたします。司教様は価値観が多様化し、人間関係が稀薄化した今の時代に、Ultimus(私たちが大勢でも一つの体です)をモットーにし、福音の視点と信仰の感覚を私たちに示してくださいました。激動する社会の中で、教会が抱える問題は山積していますが、私たちは教会組織の見直しや、福音宣教のあり方など、残された課題を真摯に受け継いでいきます。

司教様は数年前に肺がんの疑いで手術を受けてから、急激に体調が悪化し、お仕事にも支障をきたすようになりました。これからは、ますます十分な休養をおとりになり、健康回復に努めて下さい。そして陰から私たちを見守り支えてください。つづいて今日の着座式にあたり、まず神様の計らいにより、名古屋教区長として松浦悟郎司教様をお迎えすることができました。心から喜び、神さまに感謝いたします。さる3月29日ローマ教皇庁より発表があった数日後、私の教会のある信者が聖霊会のシスターに「新しい司教様が決まったそうですね」と声をかけた。この名古屋教区にも活かされ、新しい風が吹き込まれることを期待します。(3面下段へ)

松浦司教着座式の説教(要約)

教皇大使の話

名古屋教区への任命後、教皇大使に会ったとき、「教皇はあなたに『ア・ギフト』を与えた」と大使は言った。それは大使一流のジョークで、ア・ギフト(A GIFT)のAは愛知県、Gは岐阜県、Iは石川県、Fは福井県、Tは富山県、すなわち名古屋教区を構成する5県を表し、「あなたには教区的全住民、千200万人への福音宣教の使命が与えられた」という意味だった。



この千200万人の人々に福音を伝える使命を、名古屋教区の司祭、信徒、修道者と一緒になって果たしていきたい。福音(喜びのたより)を伝えるのは最高の喜びだから。

福音を告げ知らせる、とは

「良い知らせを伝える者の足は何と美しいことか」(ローマ10:15)。捕らわれている民の解放を待ち望む人々の所に伝令が走ってくる。人々はその走り方を見て良い知らせとわかる。本当にうれしいたよりは誰よりも先に自分が知らせたいと思うはず。

教会の問題として少子高齢化とか司祭修道者召命の減少が言われる。しかし、それが問題なのではない。福音の喜びがない、伝える力がないとしたら、それこそが問題だ。

福音とは

かつて相馬司教が信仰と宣教の説明を分かりやすくしてくれたことがある。「神は私を愛している」ことを受け入れることが「信仰」であり、「神はあなたも愛している」ことを言葉や関わりで伝えることが「宣教」だと。

私たちが神が愛していることは、すでにある事実であって、その事実を伝えることが宣教だ。良い人間になったら愛される、ということではない。

では、どうやって「あなたも神さまから愛されている」ことを伝えるか。今日のルカの福音のように、人間として大切にされていない状況の改善、すなわち「捕らわれている人には解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由に」することで伝える。

どこに向かって

「幻がなければ民は墮落する」という箴言の言葉(29・18)を、イエズス会の山田敬三神父は「ビジョンがなければ、民は滅びる」と言い換えた。ビジョン、つまり、何のために、どこに向かって歩んでいるかをしっかり持たなければ「民は滅びる」ということ。ビジョンを持たなければ、人は必ず自分の、あるいは自分たちの「安定」のために働く。それは墮落であり滅びに向かうことだ。

今日の第1朗読のアブラハムに対する「生まれ故郷を出よ」との招きは、地縁血縁を越えてすべての人が神の前に大切な家族になる旅に出よとの促しだ。私たちはキリストのビジョン、すなわち「この世から始まる神の国の完成」に向かって旅をし続ける。

今の世界は自分の正当性と利益を主張することで暴力の連鎖の中に入り込んでいる。日本もその中に積極的に入っていきようとしている。私たちが目指そうとするキリストのビジョンに向かって、福音をしっかりと歩んでいきたい。

松浦悟郎司教着座式の歓迎の挨拶

歓迎の挨拶を岩崎三神父(聖心教会)がお話された。傍らに滑川正雄氏(信徒使徒職協議会会長)とシスター福井節子(幼き聖母マリア修道会)が立ち会った。



挨拶全文

今、私たちは典礼聖歌40番「ひとつになろう」を歌いました。

「ひとつになろう」を歌いながら、司教様は数年前に肺がんの疑いで手術を受けてから、急激に体調が悪化し、お仕事にも支障をきたすようになりました。これからは、ますます十分な休養をおとりになり、健康回復に努めて下さい。そして陰から私たちを見守り支えてください。つづいて今日の着座式にあたり、まず神様の計らいにより、名古屋教区長として松浦悟郎司教様をお迎えすることができました。心から喜び、神さまに感謝いたします。さる3月29日ローマ教皇庁より発表があった数日後、私の教会のある信者が聖霊会のシスターに「新しい司教様が決まったそうですね」と声をかけた。この名古屋教区にも活かされ、新しい風が吹き込まれることを期待します。(3面下段へ)

には名古屋でお生まれになり、八聖聖霊幼稚園の第1回卒園児ということでも、なにか身近に親しく覚えます。名古屋教区は東海地区と北陸地区からなり、愛知、岐阜、福井、石川、富山の5県に約2万6千人の信者が登録をしていますが、しかし未登録の外国籍信者はその約3倍、8万人を超えと言われています。また東海地区は自動車産業をはじめとする日本でも有数の製造業の中心地で、外国籍の信者が労働者として働いています。私たちは教会共同体の中で国籍や民族の違いを超えた共同体づくりを目指していますが、いろいろ困難な課題に直面しているのが現状です。これからは司教様のご指導のもとで、より豊かな、より力強い信仰共同体づくりを努めていきたいと思えます。愛知県ではちょうど10年前、2005年に宗教、宗派の違いを超えた「愛知宗教者九条の会」が発足しました。その翌年の5月に松浦司教様が来名され、東本願寺名古屋別院の講堂で講義をなさいました。たしか演題は憲法の平和思想と宗教者の立場「だつたと記憶していませんが、そのことを昨日の出来事のように思い出します。司教様の「正義と平和」活動に関する長いご経験が、この名古屋教区にも活かされ、新しい風が吹き込まれることを期待します。(3面下段へ)

二〇一五年

一人または二人がわたしの名によって集まるところには、

「グロー」司教と、これからの教会を考える」講演会の内容をご紹介します。

名古屋教区信徒使徒協議会主催による第1回「信徒養成講座」が6月20日に、布池文化センター・セシリアホールで行われた。松浦司教が「これからの教会を考える」と題して話された。

名古屋教区の名古屋教区ニューズでは8・9月号と10月号の2回に分けてご紹介いたします。今回はその第一回です。



松浦司教はまず、自己紹介の中に織り交せて、信仰とは何かということ

松浦司教はまず、自己紹介の中に織り交せて、信仰とは何かということ

聖霊病院で生まれ、八事聖霊幼稚園の第1回卒業生である松浦司教は、両親をはじめ家族全員が熱心なカトリック信者で、母親手作りのサンド

イッチが食べられる日曜学校が大好きだった。小6の時に神戸に移り、中1から高3までを大阪の小神学校で過ごした。

信仰に何の疑問も抱かないまま高校生になった時、将来は僧侶になるという同級生が隣の席にいて、いつも宗教論争をしていた。

「仏教は利益に走っているじゃないか」と言うのと「キリスト教こそ告白するだけで天国に入

ほどの重荷だった。自分の決断によって人生が大きく変わってしまうのだから。

これは、与えられた信仰ではなく、自分が確信をもって「神様、あなたを信じます」と自分で結論を出すということ。

だから、私は信仰に疑問を持っている人が大好き。若者にもいっぱい疑問や反論を話してもらって一緒に考えることが私の使命と思っている。

私たちが大人の大きな責任は、次の世代に信仰を伝えること。伝える機会

子供たちは必ず「なぜ教会に行かねばならないのか」とか「死んだ人が復活するなんておかしい」とか聞いてきたはず。

その時に親が何と答えるか。「神父さんに聞きなさい」では信仰は伝わらない。自分が信じていることを自分の言葉で伝えることが大切だ。

小学校の先生として過ごした2年間、仕事はとも楽しかったが、その間、神父になるかどうかを自分で選択しなくてはならない重荷をずっと感じていた。

家が火事になって自分が家族のために働かざるをえなくなる

私はこう考える」と答える。子供は忘れていくかもしれないが、答える内容よりも、母親が自分の質問を一生懸命に考え

真剣に答えてくれたというところが大事。そうやって対話をしていくことで信仰は育っていく。

司教叙階7年目の阿倍野教会は釜ヶ崎の近くにあり、信徒の3分の1が韓国籍だった。

当時、外国人登録に伴う指紋捺捺強制の問題があった。そうした社会の現実によって私の信仰が問われ、教会の在り方が問われた。

ちょうど同じ1987年に、日本の教会はナイス(NICE)福音宣教推進全国会議を実施した。それは日本の現実の中で第2バチカン公会議の目指した方向を実現しようとしたものだった。

高度経済成長時代、懸命に働き続ける日々を生きて、いつか信仰者として生きる意味がわからなくなり、信仰の喜びは失われ、教会には力がなくなっていた。

司教団は各地で公聴会を開き、信徒の意見をひたすら聴いた。教会に対する批判、信仰に生きる

必ずつまらぬ」と言っている。最後に司教に「あなたならどう答える」などと聞いて考え、自分の人生を振り返って、「ここが私の信仰の根本だ」と

ここで3つのタイプが出てくる。信仰の喜びが消えて行く真面目な信者タイプと、信仰では世の中を生きていけないと割り切って開き直るタイプ、そして最も深刻なのが、信仰と現実とが同居し、日曜日は熱心な信者

でありながら、平日は信仰と関係ない日常を過ごすタイプだ。信仰と現実のギャップをどう処理したらよいかわからないことから、こうした三つのタイプが生まれてくる。

そんなありさまを受けて、司教団はメッセージを出した。「あるべき姿」から出発するのは止めよう。ありのままの自分の現実から出発しよう」と。

大切なのはどちらの方向に進むかだ。開き直って現実の道を行くか、それともイエスが歩んだ道を行くか。あるべき姿とのギャップは考えなく

いい。倒れても、ゆっくりでもいい。現実を前にして開き直るのでなく、信仰の道を進むこと

だ。深刻なのは方向のギャップ。あくまでも「生活から信仰を見直す」というのが司教団メッセージだった。

私たちの「現実の生活」がどうなのか。「現実の生活」の中の信仰が問われている。社会の現実が教会のあり方を問

うている。そしてナイスは、それを分ち合うことの重要さに気づく機会ともなった。

(次号に続く)

小牧教会で「東海地区一粒会の集い」を開く 北村雅彦神父の講演「主の呼ぶ声に従い」



東海地区一粒会の集いが小牧教会で6月28日に開かれ、松浦新司教、一粒会担当平田豊彦神父、北村雅彦新司教、片岡義博新司教、小牧教会主任平田政信神父、各プロックの一粒会会員、地元小牧教会の信徒(ポリビア、インドネシア、日本、ペルー、フィリピン、ベトナムなど多国籍)など、合わせて150人を超える人々で狭い小牧教会が膨れ上がった。

講演「主の呼ぶ声に従い」では、金沢に生まれ育った北村神父が、寅さめくくった。

講演後のミサは、司教の「互いにあいさつを交わしましょう」の呼びかけから始まった。マルコ福音書による死からよみ

最後は、小牧教会中南米グループによるケーキと軽食、小牧名物「しるこサンド」(工場が小牧市にある)などをつまみながらの懇親会があ

がえった少女の奇跡がテーマの説教では、奇跡と神の偉大さに感動するだけにとどまらず、そのような偉大な存在と今、共にあることに気づき、さらなる信仰へ進むよう、司教自身の体験を通して諭された。

松浦司教はまた、今年、一粒会が支えるべき神学生が途絶えたことについて、次の候補者はここに

いる皆を送り出すものであり、熟成を待ち、育てている時期でもあると激励した。近く緑ヶ丘教会で助祭叙階を受けることを紹介された増田健さんは日本語、スペイン語で抱負を述べた。すると会場からは大きなエールが巻き起こった。

《名古屋一日静修》
カルメルの霊性を生きる
—アピラの聖テレジア—

日時 9月19日(土) 「生きることと祈ること」
11月23日(月) 「念持の祈りとは？」
12月23日(水) 「自分を知ること」 *午前10時~午後4時*

場所 カトリック日比野教会 信徒会館
(地下鉄・名城線日比野駅下車 徒歩約5分)

指導司祭 九里彰 神父 参加費 1,000円
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当

主なプログラム 講話、念持、ゆるしの秘跡、面接など。
途中に昼食、最後に茶話会あり。

申し込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。
FAX / 0568-62-5167
mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係り



(2面下段より)

さる4月18日は名古屋教区では、この布池教会で司教叙階式があり、二人の新司教が誕生しました。司教様にはこの叙階式に参列くださり、その時ごあいさつの中で「名古屋教区に喜んで来る」ということを、ご自分の出発点に当たり、「神さまが新しい二人の司教をプレゼントして下さいましたことに感謝する」という言葉をいただきました。

これからは、司教様を信頼し、司教様のご指導のもとに、司教様と共に歩んでまいります。そして信徒、修道者、司祭、名古屋教区すべての信者の協力とお祈りをお約束します。

り、司教、司祭を囲んで記念写真を撮るグループもあるなど、にぎやかに集いを終えた。(小牧教会 有泉湧二)

名古屋教区一般会計報告

2014年度収支決算書の要約

2014年4月1日から2015年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	26,642,459
その他献金・寄付金	140,518
幼稚園連盟・修道会分担金	4,143,000
雑収入	17,959
繰入金収入	6,200,000
当期収入合計(A)	37,143,936
前期繰越収支差額	1,409,934
収入合計(B)	38,553,870
支出の部	
活動費管理費	28,004,632
人件費	11,515,427
儀典集会費	146,534
研修費	93,561
図書印刷費	262,388
分担金	8,730,000
寄付金	0
その他活動費	259,656
修繕費	43,092
賃借料	2,277,828
会議費	112,068
慶弔渉外費	200,000
旅費交通費	280,540
通信運搬費	549,691
備品・消耗品費	186,856
水道光熱費	310,366
保険料	248,620
その他管理費	2,788,005
教区センター・福信館助成金支出	7,987,768
宣教司牧評議会	2,416,165
	-
当期支出合計(C)	38,408,565
当期収支差額(A)-(C)	△1,264,629
次期繰越収支差額(B)-(C)	145,305

2015年度収支予算書の要約

2015年4月1日から2016年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	24,900,000
その他献金・寄付金	100,000
幼稚園連盟・修道会分担金	4,000,000
雑収入	1,000
繰入金収入	16,500,000
当期収入合計(A)	45,501,000
前期繰越収支差額	141,500
収入合計(B)	45,642,500
支出の部	
活動費管理費	38,927,500
人件費	16,477,500
儀典集会費*1	5,340,000
研修費	50,000
図書印刷費	300,000
分担金*2	8,720,000
寄付金	100,000
その他活動費	250,000
修繕費	100,000
賃借料	2,700,000
会議費	200,000
慶弔渉外費	300,000
旅費交通費	280,000
通信運搬費	650,000
備品・消耗品費	200,000
水道光熱費	380,000
保険料	50,000
その他管理費	2,830,000
教区センター・福信館助成金支出	3,215,000
宣教司牧評議会	2,000,000
予備費	1,500,000
当期支出合計(C)	45,642,500
当期収支差額(A)-(C)	△141,500
次期繰越収支差額(B)-(C)	0

予算と決算について カトリック名古屋教区の会計年度は4月1日から翌3月31日までの1年間です。名古屋教区の法人規則では、予算は毎会計年度開始1ヶ月前までに評議員会の同意および責任役員会の議決を経て編成されます。しかし、次年度の予算を決定する3月の時点ではまだ前年度の決算が確定していませんので、仮決算に基づいて予算編成が行われています。その結果、本決算が確定した時に、前期繰越金に差異が生じていますが、年度末に臨時の役員会と評議員会を開催して補正を行っております。従いまして、教区ニュースの紙面で決算報告を行う時点では補正をする前の数字で行っていることをご理解下さい。

収入の部 一般会計の収入の殆どは、全小教区からのミサ献金、維持費献金の11%からなる本部維持献金(その内の1%は宣教司牧評議会の予算に繰り入れられています)と、カトリック名古屋教区幼稚園連盟と修道会からの献金で賄われています。2014年度は前期繰越金を含め38,553,870円となりました。

支出の部 一般会計の支出の主なものは、名古屋教区が教会法上の教区本部と宗教法人としての機能を果たしていく上で必要な本部事務局の職員の人件費その施設の維持管理費に使われています。その他に今後は福信館、教区センターの維持管理費等も必要となってきます。

繰入金について 収入の欄にある「繰入金」とは、一般積立金を取り崩して一般会計に充当するものです。2014年度は、教区センターの修繕がありましたので、一般積立金の取り崩しは6,200,000円となりました。今後も教区センター、福信館などの修繕積み立ての引当金がないため、その都度修理費相当分を一般積立から取り崩し一般会計に繰り入れることが必要となってきます。また、日本カトリック神学院分担金が増加することが予測されています。

2015年度予算について 2015年度の予算は先の明るさの見えない世界の経済情勢を反映して厳しい編成となっています。支出の部における人件費は本部事務局のもので、小教区を担当している司祭の人件費は含まれていません。教区司祭の人件費は担当小教区に本部維持費11%に35%を上乗せして負担していただいております。また、宣教会、修道会が担当している小教区はその小教区よりその本部へ別途納付されて賄われております。

経済状況が逼迫する中での献金のご協力に、改めて感謝申し上げますと共に、信徒の皆様の使徒職の上に神様の祝福をお祈り申し上げます。

(名古屋教区会計担当 平田豊彦)

*1 司教着座式関係費等

*2 カトリック中央協議会分担金 2,620,000円

日本カトリック神学院分担金 6,100,000円

瀬戸	春日井	多治見	高蔵寺	瑞浪	鳴海	八熊	熱田	日比野	港	緑ヶ丘	東海	半田	長浦	名東	平針	南山	東山	膳棚	恵方町	城東ブロック	みころセンター	布池	城北橋	守山	押切	五反城	小牧	城北ブロック
櫻本 好美	大曾 昭	竹谷 基	早川 努	ティブルティウス・ヘリ	ヤマス・ジュゼップ	古川 利雅	山内 信行	古川 利雅	山口 正美	ヤマス・ジュゼップ	石脇 秀俊	フランシスカ・アシジ・モルタ	ピジユ・キシヤケール	五味 巖	森山 勝文	トウ・ダン・フック	北村 雅彦	寺尾 總一郎	大海 明敏	安城	クリストファー・ハンフリーズ	由井 滋	平田 豊彦	プリヨ・スサント	伊藤 忠雄	新立 大輔	平田 政信	濃尾ブロック
	北向 修一	バヴォール・フィラデルフィ		教区長 松浦 悟郎	富山	高岡	魚津	輪島	三馬	七尾	小松	金沢	敦賀	福井	豊橋	刈谷	聖心	岡崎	三河センター	安城	フェルディナール・バカリサ	江原 大垣	岐山	各務原	稲沢/津島	一宮	小牧	濃尾ブロック
	大曾 昭	バヴォール・フィラデルフィ		名譽司教 野村 純一	長谷川 潤	長谷川 潤	長谷川 潤	長谷川 潤	三上 和久	チブリアノ・ボンタッキオ	ピエトロ・ザンケッタ	クリストフォロ・カウルサン	ベルン・テトホール	ベルン・テトホール	サントス・エドワルド	岩崎 一三	アンセルモ・フェレイラ・デメロ	フレリック・ラウリシオ	島袋 幹男	アントニー・ピアンニン	美濃加茂 鄭 有喆	ジョン・グラハム	ブライアン・テラ	ジョン・グラハム	谷上 勝	片岡 義博	浅井 太郎	濃尾ブロック
	北向 修一	バヴォール・フィラデルフィ		司教総代理 岩崎 一三	長谷川 潤	長谷川 潤	長谷川 潤	三上 和久	三上 和久	チブリアノ・ボンタッキオ	ピエトロ・ザンケッタ	クリストフォロ・カウルサン	ベルン・テトホール	ベルン・テトホール	サントス・エドワルド	岩崎 一三	アンセルモ・フェレイラ・デメロ	フレリック・ラウリシオ	島袋 幹男	アントニー・ピアンニン	美濃加茂 鄭 有喆	ジョン・グラハム	ブライアン・テラ	ジョン・グラハム	谷上 勝	片岡 義博	浅井 太郎	濃尾ブロック
	北向 修一	バヴォール・フィラデルフィ		教区会計 平田 豊彦	長谷川 潤	長谷川 潤	長谷川 潤	三上 和久	三上 和久	チブリアノ・ボンタッキオ	ピエトロ・ザンケッタ	クリストフォロ・カウルサン	ベルン・テトホール	ベルン・テトホール	サントス・エドワルド	岩崎 一三	アンセルモ・フェレイラ・デメロ	フレリック・ラウリシオ	島袋 幹男	アントニー・ピアンニン	美濃加茂 鄭 有喆	ジョン・グラハム	ブライアン・テラ	ジョン・グラハム	谷上 勝	片岡 義博	浅井 太郎	濃尾ブロック
	北向 修一	バヴォール・フィラデルフィ		事務局次長 太田 実	長谷川 潤	長谷川 潤	長谷川 潤	三上 和久	三上 和久	チブリアノ・ボンタッキオ	ピエトロ・ザンケッタ	クリストフォロ・カウルサン	ベルン・テトホール	ベルン・テトホール	サントス・エドワルド	岩崎 一三	アンセルモ・フェレイラ・デメロ	フレリック・ラウリシオ	島袋 幹男	アントニー・ピアンニン	美濃加茂 鄭 有喆	ジョン・グラハム	ブライアン・テラ	ジョン・グラハム	谷上 勝	片岡 義博	浅井 太郎	濃尾ブロック

2015年度名古屋教区小教区担当司祭名簿

2014年度 各小教区諸献金・本部納付金一覧表

(単位:円)

教会・施設名	広報の日	聖ペトロ口	聖地献金	難民移住移動	世界宣教	司祭育成	児童福祉	四旬節	新教会建設	諸献金合計	本部維持費	宣司評献金
熱田教会	16,763	37,893	40,647	24,400	21,620	25,142	45,787	71,193	32,420	408,849	481,320	48,132
恵方町教会	—	3,100	8,000	5,600	6,000	5,000	9,000	32,560	10,650	85,510	331,027	33,103
押切教会	1,900	1,420	1,000	2,400	—	—	1,500	4,346	2,200	17,166	210,339	21,034
五反城教会	12,800	13,830	10,780	8,885	12,125	15,551	17,620	21,700	32,983	182,692	589,936	58,994
城北橋教会	5,375	10,500	22,805	8,680	10,300	11,954	11,702	52,810	27,550	271,434	851,039	85,104
膳棚教会	15,198	14,810	12,000	18,500	13,310	13,400	24,420	74,549	17,458	277,544	275,745	27,575
主税町教会	5,000	10,000	—	2,470	5,100	—	—	25,000	28,000	122,040	270,676	27,068
鳴海教会	7,435	7,962	13,261	12,398	5,727	6,300	7,225	22,585	3,120	98,411	486,596	48,660
南山教会	42,000	64,576	63,710	57,278	66,000	80,237	112,434	399,256	186,084	1,128,853	2,583,137	258,314
布池教会	125,858	164,452	74,603	163,058	135,164	146,796	177,222	82,640	65,479	1,298,330	1,897,888	189,789
東山教会	32,037	22,347	19,453	23,232	27,863	25,798	41,500	18,456	23,156	290,985	674,934	67,493
日比野教会	18,000	26,650	10,370	20,570	32,360	30,260	37,200	28,140	31,000	282,360	354,088	35,410
緑ヶ丘教会	12,230	7,420	18,870	21,630	9,580	6,720	10,000	—	5,920	114,000	226,699	22,670
港教会	24,654	21,743	25,928	25,000	20,145	19,408	25,000	21,834	23,335	232,047	698,451	69,845
名東教会	—	—	—	—	—	—	1,500	3,000	—	4,500	89,164	8,916
守山教会	6,565	11,474	5,228	11,890	6,815	5,450	6,500	45,221	6,700	117,733	151,753	15,175
八熊教会	—	10,000	10,000	14,072	—	17,055	16,434	31,548	36,450	169,731	159,754	15,975
安城教会	14,000	14,000	18,000	14,000	14,500	15,500	15,000	35,000	25,000	211,000	525,829	52,583
一宮教会	43,373	33,963	31,042	63,609	42,633	56,116	61,606	147,561	199,750	922,275	1,088,864	108,886
稲沢教会	2,300	4,200	10,000	3,880	2,550	3,185	3,125	10,330	10,000	65,317	115,619	11,562
津島教会	3,290	—	5,795	3,070	3,841	3,470	4,240	5,100	6,033	44,059	93,777	9,378
岡崎教会	19,245	13,400	32,560	—	44,850	15,450	34,268	50,819	110,600	365,592	669,214	66,921
春日井教会	25,000	30,000	—	33,000	33,000	33,000	15,000	25,000	20,000	247,000	458,029	45,803
刈谷教会	5,460	7,300	18,800	5,180	7,500	7,400	30,000	30,000	—	135,120	574,909	57,491
高蔵寺教会	12,300	12,100	4,000	9,812	5,453	7,510	12,670	73,310	20,000	196,667	317,497	31,750
江南教会	10,000	11,920	10,800	12,022	11,110	19,300	13,714	—	31,816	185,658	324,618	32,462
小牧教会	16,200	19,732	19,355	19,142	9,733	17,910	23,180	29,000	37,634	243,128	332,035	33,204
聖心教会	34,000	34,000	20,000	42,000	42,000	42,000	53,000	65,000	39,000	463,000	713,967	71,397
瀬戸教会	17,892	37,627	15,828	41,022	54,154	24,259	35,798	23,930	73,773	405,798	589,174	58,917
東海教会	7,776	10,555	9,874	13,378	10,480	3,793	17,511	100,481	11,000	272,053	325,549	32,555
豊橋教会	30,000	40,000	25,000	30,000	30,000	39,000	37,000	66,000	28,000	391,000	768,300	76,830
長浦教会	6,250	3,972	5,000	8,167	5,651	4,610	5,100	22,031	6,212	75,160	175,343	17,534
半田教会	2,500	5,000	5,050	3,350	3,900	5,750	4,015	54,379	2,500	94,605	315,665	31,566
平針教会	23,415	23,447	—	22,114	22,921	22,091	22,764	33,653	—	211,819	639,990	63,999
大垣教会	8,910	5,920	17,170	6,730	5,218	5,320	8,086	15,551	13,350	97,485	396,845	39,684
岐阜教会	32,700	44,300	48,680	32,000	41,220	24,500	35,500	131,000	50,000	696,900	723,734	72,373
各務原教会	8,963	9,346	8,000	10,000	10,081	10,371	20,508	30,000	10,000	192,269	196,903	19,680
多治見教会	2,214	5,220	6,076	5,000	5,000	3,777	21,037	60,285	2,100	158,797	954,459	95,446
瑞浪教会	—	5,000	—	5,000	5,000	5,000	5,000	16,000	3,000	63,806	137,284	13,728
美濃加茂教会	4,050	4,100	9,500	7,800	13,450	11,000	17,410	30,200	11,000	124,030	375,658	37,566
金沢教会	71,275	70,814	12,551	72,735	57,489	58,577	64,327	38,040	92,696	679,904	1,389,850	138,985
小松教会	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	—	50,000	122,600	12,260
七尾教会	—	—	2,000	—	—	—	5,300	29,036	—	57,756	69,190	6,919
三馬教会	—	—	—	—	—	—	5,775	—	—	33,183	224,381	22,438
松任教会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	9,379	938
輪島教会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	18,247	1,825
敦賀教会	5,320	5,070	4,400	5,000	4,720	4,520	5,200	16,080	5,000	76,310	249,634	24,963
小浜教会	1,000	0	—	1,300	852	—	1,600	—	—	6,052	14,740	1,474
福井、大野教会	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	15,500	32,500	27,000	198,900	341,352	34,135
鯖江教会	5,000	5,000	—	5,000	5,000	5,000	5,000	117,666	5,000	275,393	204,185	20,419
魚津教会	1,700	5,000	1,800	1,450	1,650	2,200	2,000	21,409	4,300	68,859	134,279	13,428
小矢部教会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	81,223	8,122
高岡教会	7,150	11,000	13,200	6,250	7,760	4,850	7,070	12,000	—	106,030	156,868	15,687
富山教会	92,995	40,057	18,850	30,736	18,723	26,450	32,821	—	—	387,899	0	0
その他	15,000	15,000	—	15,000	15,000	15,901	800,199	326,770	—	1,514,871	0	0
計	870,093	970,220	724,986	962,810	922,548	921,881	1,990,368	2,587,969	1,377,269	14,419,880	24,161,736	2,416,165

※「その他」とは小教区以外の学校、幼稚園、修道会・宣教会からの献金です。

※この表は2014年4月1日から2015年3月31日までに各小教区から教区本部に着金した金額を記載したものです。

※四旬節献金など会計年度をまたがって教区本部に入金された場合には二年度分記載されることもあります。

※富山教会は、本部維持費・宣司評献金2013年度に納入済み。

嬉しい洗礼式

恵方町教会

三位一体主日の5月31日、恵方町教会では久しぶりに4人の青年男女の洗礼式が行われました。一人は日本人、他はベトナム人の男性一人と女性二人の若々しい若者たち。日本人の男性は仕事でベトナムに行ったとき、ルールを守る親切な人たちに出会い、彼らがキリスト信者であることを知り、それでキリスト教に関心をもったようです。



一人です。幸い人生の伴侶となる人もベトナムで出会ったカトリック信徒の女性で、近くベトナムに行く予定です。恵方町教会はベトナム出身の大海明神父が司牧されていることもあり、多くのベトナム人の若者が訪ねてきます。日曜日のミサには30人近くが参加し、多くは信徒ですが、なかには信徒でない方もいます。彼らの中には異国で知り合った同郷の青年たちの影響で教会を訪れる人もいます。日本人の若者が海外で

外国でキリスト教にふれて興味を持ち、帰国して洗礼を受ける人がときどきいますが、彼もその

一人です。幸い人生の伴侶となる人もベトナムで出会ったカトリック信徒の女性で、近くベトナムに行く予定です。恵方町教会はベトナム出身の大海明神父が司牧されていることもあり、多くのベトナム人の若者が訪ねてきます。日曜日のミサには30人近くが参加し、多くは信徒ですが、なかには信徒でない方もいます。彼らの中には異国で知り合った同郷の青年たちの影響で教会を訪れる人もいます。日本人の若者が海外で

豊橋教会

第15回フェスタ・ジュニーナ

第15回を迎えたブラジルのお祭りであるフェスタ・ジュニーナは5月17日、豊橋市役所に隣接する吉田公園で開催されました。このお祭りはポル



トガル人とスペイン人がブラジルに持って来たもので、豊かな刈り入れを神様に感謝する6月に行うイベントです。6月の聖人たち、聖アントニオ(13日)、聖ヨハネ(24日)、聖ペトロ(29日)をお祝いすることも兼ねています。豊橋では2001年に初めて、豊橋教会の駐車場で行われ、その時は500人くらいの参加だったそうです。今年も規模が大きくなり、今年は8000人くらいが集い、郷土料理のバーベキュー、パステイス、スイーツなどが提供されました。その他、ベ

トナム、フィリピン、ペルー、日本からも料理が提供され、今年初めて大垣教会からも大勢の参加があり、いろんな所で行列が出来ていました。その他にも、ゲームあり、踊りあり、桜ヶ丘高校の和太鼓あり、一日中ぎわいました。昨年は伝統的な踊りがあったが、今年は無かったので残念でした。このイベントは少しでもブラジルの文化と地方の習慣をアピールし、多文化の交流と各コミュニティの活動の場を提供することを目的として、活動を続けたい。引き続き、活動の場を提供し、ネパール地震の義援金としてカリタス・ジャパンへも寄付されました。

も、教会共同体の一員として大きな力になっていきます。この日洗礼を受けた女性が、少しきこえないがそれでもとても丁寧に感謝のあいさつを日本語で述べました。日本人の青年はこれから新しい生活をベトナムで始めるために渡越します。日本で働き続ける3人の青年男女には、共に異国に住みながらも同じ信仰に結ばれた者として、これからの生活に神の恵みと祝福を願わずにはいられません。式の後では、信徒たちがお祝いのために持ち寄ったさまざまな料理も振る舞われ、大きな喜びのうちに楽しいひと時を過ごしました。

第76回聖霊病院

春の聖書展

カトリック社会事業室



「春の聖書展が「家族の絆」をテーマとして開催された。講演会では神言司祭マイケル・シーゲル師が、「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。

「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。講演会では神言司祭マイケル・シーゲル師が、「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。

五月晴れの中、恒例の春の聖書展が「家族の絆」をテーマとして開催された。講演会では神言司祭マイケル・シーゲル師が、「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。

「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。講演会では神言司祭マイケル・シーゲル師が、「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。

「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。講演会では神言司祭マイケル・シーゲル師が、「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。

「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。講演会では神言司祭マイケル・シーゲル師が、「個人、家族、社会」人間の尊重を基盤にした自律と連携」をテーマにして話された。

第9回アロイジオ賞に

「音訳グループあけぼの会」



「アロイジオ賞は、故アロイジオ相馬信夫司教の遺志を継いで、愛知、岐阜、福井、石川、富山の5県にわたるカトリック名古屋教区内において、生命と人権を守って草の根的活動を地道に長く続けている個人・団体を応援し、内外で紹介するために、2005年10月6日、創設され、2006年度から毎年表彰してきました。

「アロイジオ賞は、故アロイジオ相馬信夫司教の遺志を継いで、愛知、岐阜、福井、石川、富山の5県にわたるカトリック名古屋教区内において、生命と人権を守って草の根的活動を地道に長く続けている個人・団体を応援し、内外で紹介するために、2005年10月6日、創設され、2006年度から毎年表彰してきました。

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金の会計報告

(1) 会計報告 (2011.3.7~2015.7.13)	
(収入) 小教区からの支援金総額	22,469,060
(支出) カリタスジャパンへ振込	9,500,000
さいたま教区へ振込	1,000,000
オールジャパン会議交通費	123,620
*大阪教会管区大船渡プロジェクト支援	9,585,774
大船渡ベースへ車いす4台寄贈	123,200
大船渡ベースへ(デジタル)ピアノ寄贈	58,800
ボランティア交通費補助	431,150
支援金残高	1,646,516円

(2) 前月報告(2015.6.8)から2015.7.13までに寄せられた募金の件数と金額

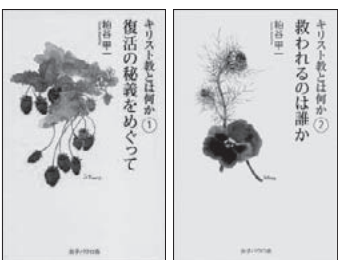
4件 218,104円 (振込手数料引去後の金額)
ご協力いただいた方々 (個人・団体・敬称略)
金沢教会 2件 高蔵寺教会 渡嘉敷成子

- (3) 支援ボランティア状況 大船渡ベースへ 2名 期間 6/25~7/2 感謝!!
- (4) 支援金振込先 郵便振替用紙にて 口座番号 00880-6-1628 名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会 「東日本大震災・災害支援金」と記入願います
- ★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とNPO法人「障がい者自立センターかまいし」を応援しています。皆様から寄せられた支援金は大阪教会管区大船渡プロジェクト支援に送金する事により、カリタス大船渡ベースの運営のために使用されています。
- ★ボランティアに関するお問合せは下記までお尋ね下さい。 社会福祉委員会(担当:村上) 電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422

新刊書のご案内

『キリスト教とは何か② 一救われるのは誰か』

粕谷甲一 著 1,296円(税込) 女子パウロ会 刊



5月に出版された「キリスト教とは何か」シリーズの2冊目である。内容はとても分かりやすい。ふつう深淵なことを身近な例を取りながら、くだけて説明しようとする内容が行き届かず浅くなりがちだが、本書はきめ細やかな深い洞察が繰り広げられているし、取りあげられている事例も非常に広範囲に豊かで、その引き合わせ方の的確さに驚きつつ引き込まれ、どんどん読んで行ってしまふ。複雑にシステム化された社会の中で、経済優先の価値観に振り回され、信仰の危機にある今を生きるにあたり、また宗教についてさまざまな質問に応じていくためにも、ぜひ手元に置いてたびたびひもとかれるようお勧めしたい1冊である。

名古屋教区典礼委員会からのご案内 第42回典礼研修会

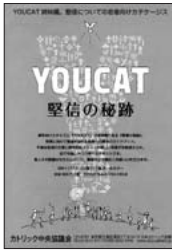
テーマ 「マラナター待降節・降誕節の典礼」
 講師 典礼委員会委員長
 プレンダン・ケレハ師(神言修道会)
 日時 10月12日(月・祝)
 10:00~16:00(9:30受付、15:30よりミサ)
 会場 南山教会マリア館
 参加費 500円
 持ち物 聖書、「信仰に生きる一典礼暦に沿って 聖書講座シリーズ12」京都司教区聖書委員会企画・編集(サンパウロ)、「キリストの神秘を祝う一典礼暦年の霊性と信心」(日本カトリック典礼委員会・編)、お弁当
 ※「信仰に生きる」及び「キリストの神秘を祝う」については会場でも販売します。
 申込切 10月3日(土)

新刊書のご案内

『YOUCAT—堅信の秘跡』

本書は青年向けカテキズム『YOUCAT』の姉妹編です。堅信に向けて勉強を始める若者たちへの最良のガイドブックとなっています。平易な表現の文章に個性的なイラストや美しい写真が多数添えられ、目でも楽しみつつ学べるテキストです。個人での読書はもちろんのこと、講座などで幅広くお使いいただけます。

編集 ベルンハルト・モイザー／ニルス・ペール
 翻訳 カトリック中央協議会事務局
 監修 日本カトリック司教協議会 聖書・教理部門
 定価 本体900円+税8%
 問合せ カトリック中央協議会
 〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
 ☎03-5632-4429/FAX 03-5632-4456



カノッサ会の Youth Day in 九州 ～信徒発見150年 私は何を見つける～

参加ご希望の方は小教区に配布済みのポスターをご覧になり必要事項をご記入の上、申込先までご連絡ください。

2015 Canossa Youth Day in 九州



開催日 2015年10月 10日(土)～12日(月)
 会場 「おおむた ハイツ」福岡県六甲田市甘木山1203-116
 対象 青年男女、18歳以上 参加費 3,000円
 申込み先 156-0045 東京都世田谷区松上2-5-1 カノッサ修道女会
 Tel 03-3329-3364 Fax 03-3302-1297
 Web www.canossa.jp E-mail canoyouth@gmail.com
 締め切り 9月15日

日本讃美歌学会中部支部 秋の公開講演会イベント 賛美の夕べ ～みんなで歌おう～

日本讃美歌学会中部支部では、アンサー・フランツ氏(ドイツの典礼学者・カトリック聖歌集編集アドバイザー)を招いてドイツの新しい讃美歌(集)について学ぶ、9月7日の公開講座を前にして、「賛美の夕べ」を開催する運びとなりました。

とき 8月18日(火) 午後3時～4時30分
 ところ 日本福音ルーテル名古屋めぐみ教会
 名古屋市南区鳥栖1丁目15-32
 (地下鉄桜通線桜本町1番・2番出口から徒歩2～3分)
 指導 (日本讃美歌学会員) 泉川道子、吉田 文
 参加費 500円
 問合せ 泉川道子
 携帯：090-8193-0420 E-mail: cantormi@lily.ocn.ne.jp
 カトリック名古屋教区広報委員会 早川 努
 携帯：090-4790-0035 E-mail: ttmhkw@hotmail.com

日本讃美歌学会 中部支部 公開講演会 新しいドイツのカトリック聖歌集 Gotteslob (ゴッテスロープ/2013年) 「豊かな倉から新しい歌と古い歌を」

賛美歌研究者のフランツ博士をお招きして38年ぶりに改定発行されたドイツのカトリック聖歌集「Gotteslob(ゴッテスロープ)」について学ぶこととなりました。

日時 9月7日(月) 13:00～16:30
 場所 日本基督教団名古屋中央教会 名古屋市東区久屋町8-6
 (地下鉄栄駅下車5番出口前)
 参加費 1,000円+歌集代1,000円 当日会場で受け付けます。
 講師 アンサー・フランツ氏
 問合せ 泉川道子(日本讃美歌学会中部支部)
 携帯：090-8193-0420 E-mail: cantormi@lily.ocn.ne.jp
 主催 日本讃美歌学会中部支部
 協賛 名古屋キリスト教協議会/カトリック名古屋教区典礼委員会/
 日本聖公会中部教区/教会音楽フォーラム
 後援 日本キリスト教団中部教区教育部

名古屋教区一粒会北陸地区の 集いのお知らせ

4月18日に新司祭に叙階された 片岡義博神父による講演

日時 8月30日(日) 14時～16時30分
 場所 カトリック三馬教会
 金沢市三馬3-324 ☎076-244-7788
 講演 「誰がその人の隣人になったと思うか」
 講師 片岡義博神父(一宮教会)
 講演後に司教ミサが行われます。
 主催 名古屋教区一粒会
 問合せ ☎0561-54-9754 西村由美子

8・9月号は合併号で

名古屋教区ニュース8月号は9月と合併号として発行します。ご了承願います。

バザー日程をお知らせ下さい

9月から11月頃にバザーを計画される小教区及び委員会等は開催日時を葉書等でお知らせ下さい。教区ニュース10月号に掲載し紹介します。原稿の締め切りは9月10日必着です。

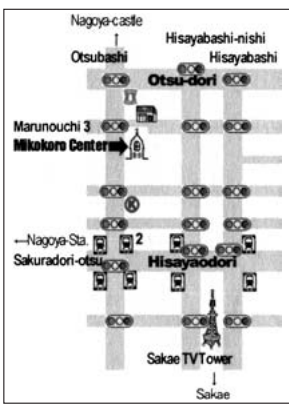
TOMO NO KAI (共の会)

CONSULTATINO & Telephone Service

Monday to Friday: 10:00 am ~16:30 pm
 460-0002 Mikokoro Nagoya-shi Naka-ku
 Marunouchi 3-6-43
 TEL 052-953-9480

WHY NOT CONSULT?

- Information for marrying Japanese and Visa procedure
- Consultation for medical treatment
- Counseling for family and daily life.
- Interpreting over the phone (Hospital, Offices, etc.)
- Support for family and children being deported.
- Languages available: Japanese, English, Tagalog, Spanish, Portuguese, etc. (for your need)



教区ニュースの校正・パソコン入力協力者を募集しています。
 広報委員会では名古屋教区ニュース記事のパソコン入力、及び校正作業の協力者を募っています。
 ○パソコン入力
 編集部が集めた原稿をFAX又は郵送でお送りしますので、それをワード入力して頂きメールで送って頂く仕事です。ワード入力が出来れば簡単な作業です。
 ○校正の作業
 毎週火曜午後1時から3時まで、月3回ほど教区センターで文字校正等を行っています。
 名古屋教区の信徒の皆さんご協力をお願い出来ませんでしょうか。ご協力頂ける方は編集長・早川努神父(高蔵寺教会)まで連絡をお願いします。
 ☎0568-19115048

名古屋オルガンの秋2015

Et in Terra Pax [そして地には平和]

会場 カトリック五反城教会
 名古屋市中村区二瀬町27
 ☎052-412-3456

○10月18日(日) 15:30

パイプオルガンコンサート
 Dona nobis pacem [我らに平安を与え給え]
 J・アラン・イスラエル 典礼暦、J・ラングレイ PAX (平和)、他
 オルガン: 吉田 文

○11月3日(火・祝) 15:30

パイプオルガンコンサート
 ベルリン・聖ヘドヴィッヒ大聖堂オルガニストを迎えて
 オルガン: フローリアン・ヴィルケス、安保恵美 (Sop)
 J.S. バッハの作品、メシアン 主の昇天より、他

○上記コンサートは入場無料。なお各催しの後に「名古屋オルガンの秋」実行のための任意の寄附をお願いします。

○オルガンの秋 HP は、http://organaki.exblog.jp

脱原発

原発の現場で語り合う

大飯・高浜原発の再稼働差し止判決の意義

福井県小浜市の明通寺を訪問し、中野哲彦さんのお話を聞く会を企画しました。ご参加ください。
 日時 8月22日(土) 午前8時30分出発 夕方帰着。
 集合 布池教会前で集合、解散となります。
 交通 マイクロバス「瀬戸9条カー」1台。
 場所 福井県小浜市門前5-22 明通寺
 参加費 5,000円程度
 申込み 福信館 FAX 052-935-7195
 参加申し込み期限は7月24日まで。
 主催 カトリック名古屋教区正義と平和委員会

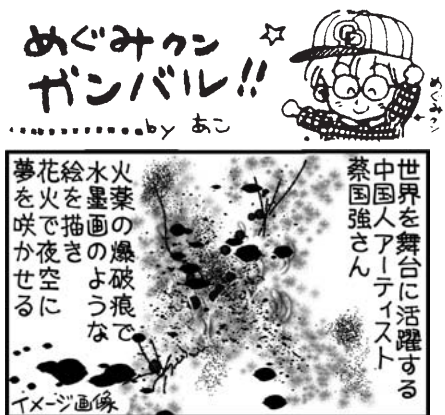
沖縄における日本国憲法

小林 武教授を囲む学習会

小林武教授は2011年3月に愛知大学を定年退職後沖縄に移住。基地問題をはじめ平和と人権の憲法問題に携わっています。
 日時 9月8日(火) 18:00～20:30
 場所 福信館 名古屋市東区葵2-6-29
 資料代 500円
 問合せ 福信館 FAX 052-935-7195
 主催 カトリック名古屋教区正義と平和委員会

名古屋教区年間テーマ

わたしもその中にいるのである



8月の教会暦 (祭日、祝日、祝日、記念日)

1日(土)	聖アルフォンソ(リゴリ)	14日(月)	十字架称賛(祝)
2日(日)	司教教会博士(記)	15日(火)	悲しみの聖母(記)
4日(火)	聖ヨハネ・マリア・ピアン	16日(水)	聖コルネリオ教皇、聖チア
6日(木)	主の変容(祝)	18日(金)	リアノ司教殉教者(記)
8日(土)	日本カトリック平和旬間	20日(日)	年間第25主日
9日(日)	聖ドミニコ司祭(記)	21日(月)	聖マタイ使徒福音記者(祝)
10日(月)	年間第19主日	23日(水)	聖ピオ(ピエトレルチーナ
11日(火)	聖クララおとめ(記)	27日(日)	司祭(記)
14日(金)	聖マキシミリアノ・マリア・	28日(月)	年間第26主日
15日(土)	聖母の被昇天(祭)	29日(火)	世界難民移住移動者の日
16日(日)	年間第20主日	30日(水)	(献金)
18日(火)	聖ベルナルド修道院長教会	31日(木)	聖トマス西と15殉教者(記)
21日(金)	博士(記)	9月1日(金)	聖ミカエル 聖ガブリエ
22日(土)	聖ピオ十世教皇(記)	9月2日(土)	ル 聖ラファエル大天使
23日(日)	天の元后聖マリア(記)	9月3日(日)	(祝)
24日(月)	年間第21主日	9月4日(月)	聖ヒエロニモ司教教会博士
27日(木)	聖バルトロマイ使徒(祝)	9月5日(火)	(祝)
28日(金)	聖モニカ(記)	9月6日(水)	(祝)
29日(土)	聖アウグスチヌス司教教会	9月7日(木)	(祝)
30日(日)	博士(記)	9月8日(金)	(祝)
31日(月)	洗礼者聖ヨハネの殉教(記)	9月9日(土)	(祝)
9月の教会暦		9月10日(日)	(祝)
3日(木)	聖グレゴリオ一世教皇博士	9月11日(月)	(祝)
6日(日)	年間第23主日	9月12日(火)	(祝)
8日(火)	聖マリアの誕生(祝)	9月13日(水)	(祝)
10日(木)	日本205福者殉教者(記)	9月14日(木)	(祝)
13日(日)	年間第24主日	9月15日(金)	(祝)

教区行事予定

2日(日)	宣司評常任委員会	7日(月)	11日(金)
4日(火)	6日(木)	8日(火)	教区付き司教黙想会
5日(水)	6日(木)	12日(土)	樹の会例会
8日(土)	信徒協広島平和巡礼	13日(日)	信仰教育委員会「神学講座
9日(日)	信徒協理事會	14日(月)	⑤
9日(日)	名古屋教区平和祈願ミサ	15日(火)	家庭委員会「この道を歩ん
11日(火)	(城北橋) 司式 松浦司教	17日(木)	で⑤
13日(木)	樹の会例会	19日(土)	殉教者祭(金沢卯辰山)
16日(日)	愛岐B会議	20日(日)	三河B会議、教区中高生会
17日(月)	21日(金)	20日(日)	教会学校教師会、北陸巡礼
22日(土)	青年委員会、正義と平和委	23日(水)	(信徒使徒職協議会)
30日(日)	一粒会の集い(北陸地区)	26日(土)	十字架称賛
3日(木)	教区顧問会	27日(日)	J.C.N.A.例会

建設費の返済に協力を

532件 27,079,856円
目標額 40,000,000円 (6月末)

達成率 約67.7%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ず
ご記入ください。

8月

2日(日)	宣司評常任委員会	23日(水)	教区八事霊園合同追悼ミサ
27日(日)	松浦司教の予定	26日(土)	濃尾B会議、富山B会議
		27日(日)	青年委員会、典礼委員会

9月

3日(木)	教区顧問会	3日(木)	教区顧問会
		5日(土)	宣司評常任委員会
		7日(月)	11日(金) 教区付司教黙想会
		13日(日)	殉教者祭ミサ(金沢卯辰山)
		17日(木)	司教協議会
		20日(日)	城北プロック会議
		27日(日)	金沢教会堅信式

聖パウロ女子修道会(パウロ書院)のお知らせ

“一緒に、ロザリオの祈りをしましょう!”

シスターたちがお祈りしている修道院のチャペルで、一緒にロザリオの祈りをしませんか。まだロザリオを一度も唱えたことがない方や、お祈りのしかたがわからない方、どなたでもご自由に参加できます。どんなことでも、ロザリオの祈りをとおして聖母マリアに打ち明け、恵みを取りついでいただきます。

日時 8月はお休みします。
9月13日(日) 午後2時から(40分程)
10月11日(日) 午後2時から(40分程)

場所 聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)
名古屋市東区葵1-13-2 ☎052-936-4443

神言会多治見修道院・黙想会

閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!

9月12日(土) 10:00~13日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは語る「あなたは自分をどのように評価していますか」と。対象: 信徒

10月17日(土) 10:00~18日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは語る「あなたは何か一番大切だとおもっていますか」と。対象: 信徒

料金 宿泊費2,500円+指導者への謝礼+自由献金
食事 仕出し弁当又はスーパーで購入。
申込み 神言会多治見修道院研修センター(9時~16時30分)
☎0572-22-2038 / Fax 0572-22-2076
携帯電話 090-7696-8089

アヴィラの聖テレジア生誕500周年記念

4回の講話と黙想会案内
(2014年10月15日~2015年10月15日)

「教会博士である聖女に学ぶ祈りと自己探求」

アヴィラの聖テレジア生誕500周年記念に当たりこの聖人が私たちに教えてくれた祈りの実践を学ぶべく全4回の黙想会を開催します。一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

黙想会日程 第4回 10月16日(金)~17日(土)「神との一致の祈り」
尚、4回目は一泊二日の黙想会を予定しています。
ヘリ・ティブルティウス神父(神言修道会日本管区修練長)

指導司祭 毎回午前10時~午後4時(予定)
時間 カトリック多治見教会 2階205室
場所 聖書、筆記用具、ロザリオ等 参加費 各回1,000円
持ち物 昼食はお弁当をご用意ください。お茶その他はこちらで準備します。
その他 神言会多治見修道院研修センター
申込先 ☎0572-22-2038 Fax 0572-22-2076
出来れば一週間前までにお申し込みください。黙想のために個室を希望される方、宿泊を希望される方はその旨お伝えください。(個室1,500円、宿泊2,500円)

告知板

福信館便り ☎052(935)7180

◇8月の炊き出し
木6日東山、13日運営委員、20日南山、27日城北橋

◇9月の炊き出し
布池、28日一宮

金4日喜望の会、14日長浦、21日布池、25日一宮

日城北橋
11日南山、18日

信徒使徒職協議会主催による 北陸巡礼2015

バスで行く長崎キリシタン殉教と高山右近を巡る旅

日程 9月13日(日)
会場 金沢の卯辰山殉教地で野外ミサ。雨天の場合は金沢教会で行います。
ミサ司式 松浦信郎司教
更にバスの中でユスト高山右近について学びます。
参加費 5,000円(昼食代、保険料含む)
乗り物 観光バス1台
申込み 8月16日(日)まで。
小教区に配布済みの申し込み用紙で申し込み。定員49名になり次第締め切ります。
問合せ 信徒協使徒職協議会の事務局。開所日は水、土曜日の午後1時~5時までです。
TEL・FAX 052-933-3435
Email shitokyou@giga.ocn.ne.jp

2015年度 家庭委員会主催

家庭委員会主催の新テーマ 「この道を歩んで」が始まりました。

~6人のシスターが語る自分史(家庭と召命)~

開催日 9月12日(土)、10月10日(土)
時間 毎回午後1時30分~3時30分
会場 聖パウロ女子修道会名古屋修道院(聖パウロ書院)
*参加費無料、*一回だけでも参加できます。
*事前申し込みの必要はありません。
問合せ 椎尾匡文神父(東山教会 ☎052-781-6514)

「青年のための聖書の学び」

開催日 8月22日(土) 愛知県陶磁美術館(陶芸館)に遠足。
9月21日(月・敬老の日)~22日(火・国民の休日)は黙想会。このコースの締めくくりです。
テーマ 「主よ、あなたはどなたですか!」
指導者 溝部脩司教様(望洋庵・庵主)
(グループの分かち合いは名古屋・神戸の青年たち)
前日の9月20日から泊まる事も出来ます。
締切り 8月22日(土) 陶芸館遠足の日。
持ち物 聖書、洗面道具(タオル、歯ブラシ、歯磨き粉等)尚、石鹸、シャンプー、寝具は主催者で準備。
対象 18歳から30歳くらいの青年
申込場所 聖マリアの無原罪教育宣教修道会 名古屋修道院 名古屋市千種区園山町1-56 ☎052-782-5850
担当 シスター礎(いかり)政子
HP <http://www.concepcionistas.jp/>

名古屋教区センター 休館日変更のお知らせ

名古屋教区センター事務所は6月27日(土)より、毎週土曜日及び日曜日を休館と致します。又、祝祭日も休館と致します。ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力をお願いします。

名古屋教区センター
事務局長 平田政信